

## 巻 頭 言

新潟市が、新津文化振興財団から継承して石沢進氏にお願いをしている新津地域を中心とした植物分布の調査・研究も通算7年となった。

この間、成果は森林、野鳥、昆虫等の調査結果と共に調査報告会を通じて市民に紹介され里山保全に対する意識の高まりと同時に里山の自然にふれあうきっかけづくりにもつながったと認識している。

新潟市は、2007年4月1日に本州日本海側初の政令指定都市となったが、里山や湿地などすばらしい自然環境に恵まれていることから、目指す都市像に田園型拠点都市を掲げ、多様で貴重な自然環境の保全・活用を図っている。

新津丘陵の植物分布調査は、これらの自然環境保全・活用に生かされると共に市民の共有の財産として森林のもつ多面的機能の整備や新たな交流にもつながるものと期待している。

今年度も、新津丘陵における貴重な植物の調査と併せ新潟県内の研究を進めていただき年報として紹介していただいた。資料調査や資料提供など年報発行にあたりご協力いただいた関係者の方々に感謝申し上げるとともに、研究成果をより多くの方々から活用していただければ幸いである。

2008年3月

新潟市秋葉区長

松 井 弘